

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開催の案内が十分でなく、出席者の不安定さにつながっている。地域包括支援センターからの出席が、最近減って来ている現状もあるので、開催の通知を余裕をもってお知らせできるようにする。	地域の皆さんに気軽に参加して頂ける会議となっている点はそのまま生かし、家族の参加も促していきたい。定期的に運営推進会議の内容を写真も加えた広報誌のようにして、ご家族にも、関心をもってもらう会議になるようにする。	施設を紹介する広報誌が長い間発行できていないので、施設内の様子の見える化を、運営推進会議の議事録として、家族や関係者に届けて関心をもってもらうようにする。	12ヶ月
2	26	介護度の高い利用者様が多く、職員主体のケアになりがちな現状がある。ケア内容の記述も具体的なケアの記載がなく、アセスメントの記載についても同様に具体性がなく、不十分な物になっている。	3か月ごとのモニタリングを行い、アセスメントもまだまだ、記載が少ないので、すべての職員がアセスメントをきちんと行い、次のプランにつなげていけるようする。	研修を通じて、チームケア大切さを学ぶ。今年度の法人研修に関係のある二つの研修を盛り込んでもらった。参加するだけでは一時的なものになってしまうので、日常のケアにどのように繋げていくかを考えて取り組みたい。	12ヶ月
3	35	BCPの冊子は出来たが、空白部分も多い。従来の防災対策との違いを周知している職員少なく、職員に周知するには至っていない。	緊急事態に利用者様の生命が守れるようすべての職員が内容を周知したうえで、出来る対応を行えるようする。	BCPの内容を読み込み、全体像を理解する必要があると思うので、時間をつくり、研修を施設内で複数回する。学んだことを自分の言葉でまとめて、内容を習得していき、共通の理解として施設内で共有できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。